令和4年度　建設部長マニフェスト（総括）

建設部長	久保田　和憲

【基本方針】

道路、橋梁、公園、住宅など、生活を支える社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、適切な整備と維持管理を実施するとともに、災害に強く信頼性の高い社会資本施設を整備します。

また、令和3年豪雨災害からの復旧事業を完成させるとともに、市民が安全で安心な暮らしができるよう、久慈川水系流域治水プロジェクトに基づき、県営事業である小屋畑川河川改修事業の促進を図るとともに、市道や普通河川等の浸水対策に取り組みます。

【重点目標】

1　道路・河川・公園などの社会インフラの持続可能な維持管理

達成状況：**達成**

○内容

■ 持続可能な社会インフラを目指し、適切な維持管理の実施と地域住民との協働による維持補修を行います。

- 橋梁（105橋）の点検を計画的に実施するほか、修繕が必要な橋梁（15橋）の調査・詳細設計を実施します。
- 老朽化した橋梁（4橋）、公園施設（1施設）の補修等に取り組みます。
- 地域の課題である市道等の道路及び小水路について、市民協働道路等維持補修事業により、市内10カ所の整備・補修を実施します。
- 久慈市公営住宅等長寿命化計画による公営住宅（1団地）の改修を行います。

●取組結果

- 道路橋梁105橋の定期点検を実施したほか、三日町橋などの補修等が必要な15橋梁について設計を実施中です。（R5年度へ一部繰越）
- 老朽化した橋梁3橋（久慈橋、天満橋、新中の橋）の補修工事を実施したほか、中の橋の補修工事を実施中です。（R5年度へ一部繰越）
- 公園施設の補修については、諏訪公園展望台撤去工事を実施中です。（R5年度へ繰越）
- 市民協働道路等維持補修事業は、当初予算分10件と9月補正予算分5件、計15件について採択し、11件が完了しました。残り4件は3月末に完了します。
- 公営住宅については、侍浜団地5棟10戸の外装改修及び給湯の三点給湯化を実施しました。

2　災害に強いまちづくり

達成状況：**一部達成**

○内容

■ 豪雨災害による被災箇所の早期復旧を目指すとともに、災害予防、浸水対策及び法面対策などの防災対策を行います。

- 令和3年8月豪雨により被害を受けた道路（3件）の復旧工事の完了を目指します。
- 豪雨時に生じる道路冠水等（6路線）の解消に取り組みます。
- 準用河川及び普通河川（4カ所）の堆積土砂撤去を行い、治水能力の確保に取り組みます。
- 小屋畑川河川改修事業（県事業）の促進が図られるよう、道路・橋梁等の市管理施設に係る各種協議を進めます。
- 災害の防止、円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、無電柱化（1路線）に取り組みます。
- 民間木造住宅の耐震診断（5戸）の実施と、耐震改修工事（1戸）への補助を行います。

●取組結果

- 令和3年8月豪雨により被害を受けた道路（3件）の復旧工事は、すべて完了しました。
- 道路冠水等の解消については、沢山通り線と大川目線の用地補償を実施中です。（R5年度へ一部繰越）工事については7地区（川貫2号線ほか、山岸線、久慈港線ほか、野中線、久喜漁港線、二子小袖沢線、白山川）の整備を行いました。
- 治水能力確保の取り組みとして、準用河川及び普通河川（7河川 ※）の堆積土砂撤去工事を発注し、3月中旬に完了します。
  ※ 準用河川北ノ越川、準用河川鳥谷西ノ沢川、準用河川畑田川、準用河川沢里川、普通河川上早坂川、普通河川下女沢川、普通河川下田中沢川
- 県の小屋畑川河川改修事業に係る協議等は、遅れなく進んでいます。地元説明会を7月、9月、1月に実施し、用地測量、建物調査等を実施中です。
- 無電柱化については、久慈駅東口線電線共同溝工事を実施中です。（R5年度へ一部繰越）
- 建築物の耐震化を促進するため、民間木造住宅の耐震診断2戸、耐震改修工事補助1戸を実施しました。

3　安全・安心な交通の確保

達成状況	達成

○内容

■ 通学児童などの歩行者の通行の安全性を確保するとともに、交通の円滑化を図るため、歩道や区画線・防護柵の整備に取り組みます。

- 交通安全対策として、歩道（3路線）、区画線（4路線）、防護柵（1路線）を整備します。
- 歩行者の安全性を確保するため、国道や県道の歩道整備の要望を行います。
- 通学路の安全を確保するため、教育委員会や交通管理者と共に、通学路の安全点検を行います。

●取組結果

- 通学路の交通安全対策として、歩道2路線（中の橋栄町線、日吉町宇部線）の整備を行いました。また、上長内日吉町線の用地補償を実施中です。（R5年度へ一部繰越）
- 歩道設置が困難な5路線（寺里線、日吉町堀線、夏井川線、川井中央線、旭町線）について、グリーンベルトやラバーポールの設置により、歩行空間の確保を行いました。
- 円滑な交通を確保するため、三日町大通り線ほか9路線の区画線設置を行いました。
- 歩行者の安全性を確保するため、国土交通省、岩手県に対し、国道281号及び主要地方道久慈岩泉線をはじめとする国・県道への歩道設置を要望しました。
- 通学路の安全確保のため、6月に教育委員会や久慈警察署とともに交通安全施設総点検を実施し、11月には、通学路安全推進会議により対策が必要な箇所の検討を行いました。

4　社会インフラの充実

達成状況	達成

○内容

■ 久慈港の利用促進や新たな企業立地につながる広域幹線道路等の要望活動を行い、早期完成・事業促進に向けて取り組みます。

- 国道281号（案内～戸呂町口間）の事業促進や、「岩手県新広域道路交通計画」において、将来の高規格道路としての役割が期待されている「（仮称）久慈内陸道路」の早期実現に向けた要望を行うとともに、その他路線についても平常時・災害時を問わない安全で円滑な道路網の整備等に向けた要望を行います。

●取組結果

- 安全で円滑な道路網の整備等に向け、国土交通省、財務省及び岩手県に対し、国道281号をはじめとする広域幹線道路等の事業促進要望を行うとともに、「（仮称）久慈内陸道路」の要望も同機会を捉えて実施しました。